

目 次

業務概要

1. 沿	革	1
2. 施	設	1
2. 1	位 置	1
2. 2	敷地と建物	1
2. 3	部門別内訳	2
3. 機	構	3
3. 1	組織と分掌	3
3. 2	配置人員	3
3. 3	業務分担	4
3. 4	人事記録	4
4. 決	算	5
4. 1	平成21年度歳入	5
4. 2	平成21年度歳出	5
5. 新規購入備品		7
5. 1	機 器	7
5. 2	図書(備品)	8
5. 3	学術雑誌	8
5. 4	年鑑・白書	8
6. 行	事	9
6. 1	学会・研究会	9
6. 2	会 議	10
6. 3	講習会・研修会	13
6. 4	研修企画・実施・協力	15
6. 5	来訪・見学	16
6. 6	所内関係	16
6. 7	そ の 他	18
7. 技 術 指 導		19
7. 1	講習・講演・講義等	19
7. 2	個別指導	19

8. 検 査 件 数	20
9. 業 務 概 要	22
9. 1 総務企画情報グループ	22
9. 2 企画調整担当	25
9. 3 検査等の事務の管理	26
9. 4 環境マネジメントシステムの運用	28
9. 5 細 菌グループ	29
9. 6 ウ イ ル スグループ	31
9. 7 食 品 化 学グループ	33
9. 8 大 気 環 境グループ	34
9. 9 水 環 境グループ	36
9. 10 原子力環境センター	38
10. 発 表 業 績	39
10. 1 著書・報告書	39
10. 2 誌 上 発 表	39
10. 3 学会・研究会発表	40
10. 4 研究発表会	41
10. 5 平成21年度集談会	42
10. 6 保環研だより	43

調査研究

ノ ー ト

島根県における食肉の基質特異性拡張型βラクタマーゼ（ESBL）産生大腸菌 の汚染状況及び食肉由来株とヒト由来株との比較	45
黒崎守人・岸 亮子・川瀬 遵・熱田純子・高橋起男・福島 博	

資 料

島根県で分離された <i>Salmonella</i> の血清型と年度別推移(2009年度)	48
川瀬 遵・黒崎守人・熱田純子・高橋起男・福島 博	
IS printing法を用いた腸管出血性大腸菌O157の分子疫学解析の有用性の検討	50
黒崎守人・熱田純子・高橋起男・川瀬 遵・福島 博	

島根県における食肉のカンピロバクターとサルモネラの汚染状況及び ヒト由来株との関連性について 熱田純子 黒崎守人 高橋起男 川瀬 遵	52
新型インフルエンザの発生から流行期までの行政対応と患者発生状況 小村珠喜・和田美江子・保科 健	57
インフルエンザ様疾患の流行状況（2009/2010年） 小村珠喜・田原研司・和田美江子・飯塚節子・保科 健	58
小児のウイルス感染症の調査成績（2009年） 飯塚節子・和田美江子・田原研司・小村珠喜・保科 健	62
ブタにおける日本脳炎ウイルスHI抗体保有状況（2009年） 田原研司	67
島根県沿岸における貝毒検査結果（2009年度） 岸 亮子	68
有害物質などに関する水質測定結果（2009年度） 宮廻隆洋・神門利之・長岡克朗・神谷 宏	69
宍道湖・中海水質調査結果（2009年度） 神門利之・坂本尚子・熱田貴史・崎 幸子・宮廻隆洋 長岡克朗・神谷 宏	74
宍道湖・中海の植物プランクトン水質調査結果（2009年度） 崎 幸子・神門利之・大谷修司	79
島根県内のトリチウム濃度（2009年度） 河原央明・野尻裕樹・田中孝典・藤原 誠・生田美抄夫・木村和郎	87
環境試料の放射性核種濃度の調査結果（2009年度） 野尻裕樹・生田美抄夫・藤原 誠・田中孝典・河原央明・木村和郎	93
熱ルミネセンス線量計による空間放射線積算線量測定結果（2009年度） 野尻裕樹・生田美抄夫・藤原 誠・田中孝典・河原央明・木村和郎	100

島根県におけるストロンチウム90の調査結果（2008、2009年度）	102
藤原 誠・山根 宏・野尻裕樹・河原央明・田中孝典 生田美抄夫・江角周一・木村和郎	

他誌発表、著者、報告書、抄録

他誌発表

リアルタイムPCRを用いた <i>Aeromonas hydrophila</i> 壊死性軟部組織感染症の迅速診断	105
小早川義貴・泉 陽子・牛田美鈴・新納教男・越崎雅行 山森祐治・金子 栄・福島 博	

Pyogenic liver abscess caused by <i>Klebsiella pneumoniae</i> genetic serotype K1 in Japan. 遺伝子型判別に基づく <i>Klebsiella pneumoniae</i> 血清型 K1による化膿性肝膿瘍	105
小早川義貴・中尾桂子・牛田美鈴・新納教男・越崎雅行 山森祐治・徳安祐輔・福島 博	

Familial outbreak of <i>Yersinia enterocolitica</i> Serotype O9 biotype2. <i>Yersinia enterocolitica</i> 血清型O9 生物型2感染症の家庭内発生	106
Moriki S, Nobata A, Shibata H, Nagai A, Minami N Taketani T, Fukushima H.	

島根県の冬季における湿性沈着にみられる酸性化傾向の解析	106
江角真依・多田納力・荒木卓久・佐川竜也・黒崎理恵・大城 等・原 宏	

報告書

MultiplexリアルタイムSYBR Green PCR法による食中毒菌の一斉スクリーニング法の検討	106
福島 博	

中国・四国地域におけるリケッチア症（つつが虫病・日本紅斑熱）の発生状況と疫学（2009年） -リアルタイムPCR法を用いた日本紅斑熱患者の各種臨床検体からの <i>Rickettsia japonica</i> の検出	107
田原研司	

むき身アサリを原因とするサポウイルスとノロウイルスの複合食中毒事例	108
飯塚節子	

二枚貝関連事例におけるウイルス検査の問題点	108
飯塚節子	

中国四国地域における光化学オキシダント

および浮遊粒子状物質の経年変動の特性および高濃度エピソードの解析 108
佐川竜也

学会発表抄録

公衆衛生関係 (海外・全国) 109

環境衛生関係 (全 国) 113

環境衛生関係 (県 内) 119